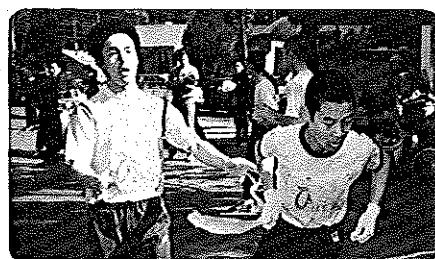


駅伝マラソン大会



区間の活躍と声援

コミュニティづくりは、走る人・声援する人・役割をすすめる人・それぞれのあなたが主役です。

<コース> 1.久米小学校 2.落合下 3.都叶バス停
4.大学前 5.老郷地上 6.坂本西 7.老郷地下
8.平安閣前 9.東福祉館前 10.旭ヶ丘 11.平安閣前
12.老郷地下、老郷地上 13.老郷地下→久米小学校



《研修へ参加してのお知らせ》

テーマ 今、地域での子育ては

このテーマのもと「コミュニティ宿泊交流シンポジウム」が国民宿舎湯野荘を会場として3月1日～2日の2日間、市内各地域のコミュニティ推進協議会から約70名が参加して開かれました。

青少年を正しく、たくましく育てるには、子どもたちが日常生活しており影響をうけております地域の環境、すなわち、その教育力を高めることが大切であります。

そのためには私たちおとなは何をしなければならないかについて……

はじめに、テーマにそな基調の講演が、次に小川徳山市長さんのコミュニティの講話、そしてシンポジウム「今、地域での子育ては」があり、地域ではお互いの考え方をどう調和し

統一することによって子育てをすすめればよいかなどの意見や話し合いがありました。

(総務部記)

シンポジウムとは

2人または、それ以上の人人が、同一問題の異なる面をあらわすよう講演し、おのの意見を述べ、聴衆または、司会者が質問し、講演者がこれに答える討論の一つの形式。

コミュニティを学ぶ

ボランティア

ボランティアとは「ボランティア」と「ユートピア」の二つのことばによる造語で、ボランティア活動により、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりをあらわしたことばです。

(徳山社協だより18号より)

ボランティア

自らの意志によって無料奉仕活動する人、篤志奉仕家のことです。(ラテン語の意志から)

ユートピア

ここでのユートピアは、トマス・モアの作品に基づく想像上の理想的な社会のそれではなく、実現可能な理想郷をいっているようです。

コミュニティくわん

手をつなぐ
伸びゆく我がまち
我が郷土

〈第4号〉

昭和61年3月25日発行
久米地区コミュニティ推進協議会
事務局: 久米公民館内



<ふれあうまち> 高田団地 旭ヶ丘 政所 秋本 天神山 ひばりヶ丘 ひばりヶ丘県住 石ヶ迫
老郷地下 老郷地上 (次号は他の地域)

自治会の皆様のご協力を感謝します

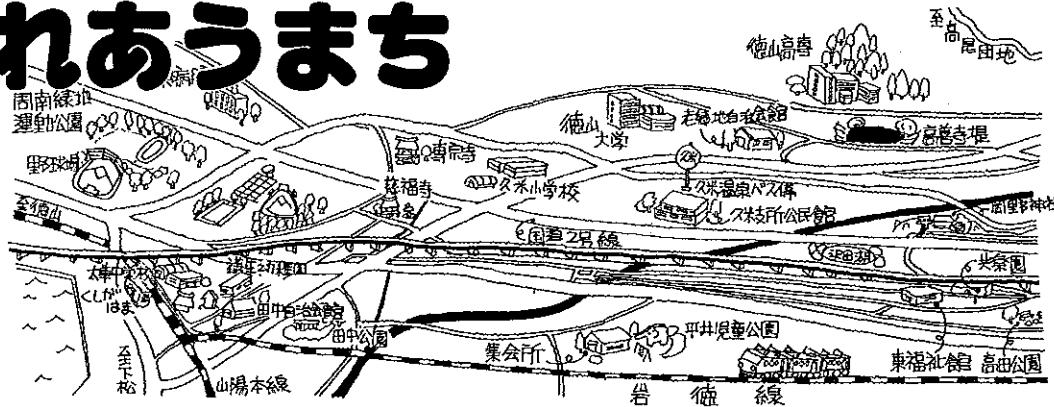
コミュニティ推進協議会会長 林 和美

かぎょうう 蝶牛の歩みではありますがコミュニティ活動も役員をはじめ各種団体の皆さんのお陰でようやく軌道に乗ってまいりました。

コミュニティ活動の源泉ともいべき会費の拠出につきましては、各自治会長さんのお手をわざわざごとに申し訳ございません。同時に全自治会員の皆様のコミュニティに対する格段の温かいご理解、ご協力をいただいており、ほんとうに感謝のほかございません。心から厚く御礼申しあげます。

地域における連帯意識を強め、ふれ合いの輪を広げるべくさらに活動を進めてまいりたいと存じますので、今後とも皆様のご理解、ご指導を賜りますよう紙上をおかりしましてお願い申し上げます。

ふれあうまち



ふるさと夏まつり



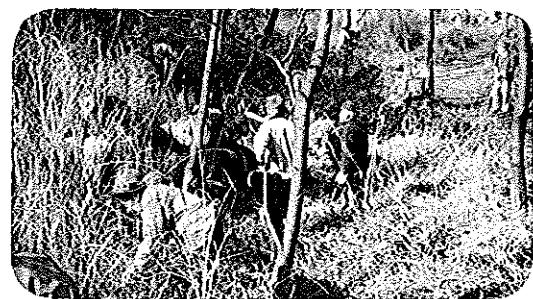
“ふるさと夏まつり”は今年で6回、6年目を迎えます。会場では、チビッコ映画まつり、スイカ割り、バザー、不用品即売会、福引抽選会など、ここでは祭り一色につつまれました。

夜のとばりがおりますと、浴衣（ゆかた）に下駄ばきに団扇（うちわ）を持った人々は久米スポーツ広場に急ぎます。こうして夜の部の盆踊り大会がたけなわとなつて行きます。この催しには、体育振興会、婦人会、自治会、社会福祉協議会、久米寿会、盆踊り保存会の団体の協力があつたことなのです。

— きれいな環境 — 清掃と奉仕活動

暑い夏の日、寒風の師走の日、快適で住みよい郷土づくりを目指し、久米全地域44の自治会の多数の単位自治会が一斉に、屋外の河川、下水溝、道路、広場などをもとめ清掃に取り組みました。

汗を流し、ドロンゴになってよく働いた1日、楽しかった1日、よくふれあった心のなごむ1日でした。

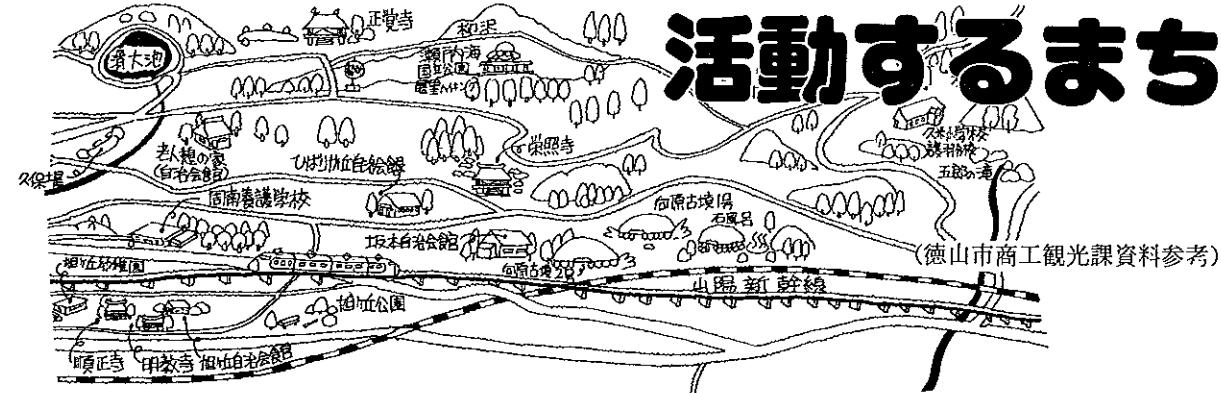


天神山の桜の樹は春のおとずれを待っています。開花もあとわずかです。ふれあいの場の天神山、この桜の開花を待ちこがれる人々は、指折り数えての毎日です。

家族と、友人と、グループ等々がここで語り合うにぎやかな春の日はもうそこまでできています。



活動するまち



ふれあいの 駅伝マラソン大会

2月11日の“建国記念の日”

晴天に恵まれた冬空のもと、激励の応援に支えられて恒例の第20回久米地区駅伝マラソン大会が行われました。

11時00分・02分、ピストルの合図で久米小学校校庭を駆伝の部のひばりが丘、田中、久米市、共楽園（A・B・C）、老郷地、西久米、旭ヶ丘西南、坂本、寺下・高田、年光フ



アミリー、蔵光・西光寺、子供ソフトの14チームと完走の8名が、ふれあいと健脚を競ってスタートしました。

— ご苦労さま — おとながお手本

子どもが地域の中で、よりよい生活をしていくためには、地域に住むおとなが、自ら手本を示すことが大切です。

子どもはいつも親の姿を見て成長します。親のよい面、地域のおとなとのよい面を見習つ



て、それを身につけていきます。

「おはよう、元気でいいいらっしゃい」の子どもへの交通安全の願い。また、「今日1日よく頑張ったね、元気でね……さようなら」子どもの健やかな成長を期待するおとな

の、こうした、生き生きとしたあるべき姿こそ、子どもの成長にとって大きな心の糧になります。

“伸びゆく徳山っ子”はこうしたおとなから、地域の中ですくすくと育ちます。

一夏の日も冬の日も
ご苦労さま—